

教 教育・発達心理学 I

YOSHIKAWA Nobuyo

吉川 延代

Educational-Developmental Psychology I

■授業の目的及び到達目標

教育・発達心理学Iでは、教員を目指す人のための「教育心理学」について学びます。本授業の目的は、児童・生徒の心身の発達の課程及び特徴を理解することです。そして、人間の発達における内的・外的要因の相互作用、理論を踏まえた発達の概念や教育における発達理解の意義を学ぶこと、各年齢期における運動・言語・認知・社会性の発達の様相を理解することを到達目標とします。

■授業計画

- 1 第1章 発達の捉え方
発達を規定する要因、知的発達、社会性の発達について学びます。
- 2 第2章 パーソナリティの形成
パーソナリティとは何か、類型論、特製論、精神分析論からみるパーソナリティ、パーソナリティの測定について学びます。
- 3 第3章 実践活動における学習・小テスト①
経験から学ぶということ、野外活動における学び、芸道における学びについて考えます。小テスト及びフィードバックとしての振り返り。
- 4 第4章 知性の捉え方と学力観
教育改革と新しい学力観、知能研究の流れ、新しい知性の捉え方について学びます。
- 5 第5章 学習の基礎としての情報処理・小テスト②
処理される情報の型、情報処理の方略、処理された情報の貯蔵庫、効果的な学習のための情報処理の工夫について学びます。小テスト及びフィードバックとしての振り返り。
- 6 第6章 教科学習における理解と指導
教科学習の認知基盤、読みの指導、算数数学の指導、科学的概念の獲得と指導について学びます。
- 7 第7章 動機づけ・小テスト③
内発的動機づけと外発的動機づけ、認知と動機づけ、環境と動機づけ、動機づけを高める教育実践について学びます。小テスト及びフィードバックとしての振り返り。
- 8 第8章 自己調整学習
自己調整学習とは何か、自己調整学習を支える心理的要素、自己調整学習者を育成する授業、他者との関わりで育つ自己調整学習の力について学びます。
- 9 第9章 教育評価の意義と方法・小テスト④
教育評価の意義と働き、客観テストと集団準拠評価、目標準拠評価、パフォーマンスに基づく評価について学びます。小テスト及びフィードバックとしての振り返り。
- 10 第10章 仲間関係・学級集団
仲間関係の様相と発達、学校・地域・インターネットにおける仲間関係、代表的な学級集団の理解法、仲間関係の諸問題、より良い仲間関係を育てる教育について学びます。
- 11 第11章 教師と児童生徒のコミュニケーション
児童生徒のコミュニケーション能力、学校における対人関係、教師が学級に及ぼす影響力、教師のコミュニケーション能力と学級運営、児童生徒のコミュニケーション能力を育てる環境について学びます。
- 12 特別章 障害児の心理と教育・小テスト⑤
障害の種類、障害児への教育、障害児への支援、障害児教育の工夫について学びます。小テスト及びフィードバックとしての振り返り。
- 13 学期末試験及びフィードバックとしての解説
教育心理学の理解を問う期末試験とまとめとしての解説を行います。

■授業の方法

基本的には、教科書を用いた講義形式で行います。Blackboardに毎回の授業の資料を掲載します。また、授業内容に関して、各学生に自分が興味を持ったテーマに沿って発表をすることを求めます。

■予習・復習

予習は、教科書その日の授業の単元を予め読んで、自分の考えをまとめておくこと。復習は、その日に学んだ重要項目について、資料等を見直して、ノートにまとめておくこと。自分なりのノートを作成すること。

■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）

成績評価は、期末試験40%、小テスト30%、授業への積極的な参加度及び発表内容30%の割合で評価します。授業に積極的にコミットすることを重視します。また、欠席が1/3以上ある場合は単位を与えられません。

■教科書・参考書

教科書：新しい教職教育講座 教職教育編④ 「教育心理学」神藤貴昭・橋本憲尚（編著） ミネルヴァ書房

■関連する科目

発達心理学、臨床心理学、学校心理学など心理学系の科目は関連する項目が多いです。